

令和6年度 第1回清川村総合教育会議録

日 時 令和6年8月26日（月）午前9時00分から10時15分
場 所 本庁舎4階 住民センター集会室
出席委員 岩澤吉美村長、山田一夫教育長、今野郁夫職務代理者
橋本直人委員、山田比呂美委員 小室美和委員
事務局 小野参事兼指導主事、相原学校教育課長、中澤生涯学習課長
岩澤副課長、奥脇指導主事

議事日程

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議題
 - （1）前回会議録の確認
 - （2）学校教育の運営について
 - （3）生涯学習の実施状況について
 - （4）その他
- 4 次回の会議日程
- 5 閉会

開会（午前9時00分）

村長あいさつ

昨日、防災訓練を実施しました。多くの関係者のご協力を頂き、また、自主防災の方々の参加を得て、無事訓練ができたところであります。いつ起こるか分からない地震ですので、日頃からの備えが重要だと思っています。地震に関しては、元旦早々、能登半島地震で震度7を記録しておりますし、その後も様々な箇所で震度5弱を記録するなど頻発している状況です。今月に入り、宮崎県で6弱の大きな地震が発生し、その翌日には、神奈川県西部地震が発生しまして、村でも震度5弱を記録しております。その際は、村の職員も招集し、災害対策本部を設置して、村内の状況を確認したところです。この地震については、幸いにも人が怪我をしたり、建物の倒壊はありませんでしたが、住宅の壁が壊れたり、食器類が落ちたなど報告を受けています。公共施設では、小学校の体育館の壁が損傷や中学校校舎の一部が損傷した等の報告を受けています。神社やお寺では、石碑が損傷を受けたとも聞いています。本当にいつ起きてもおかしくない地震です。これからしっかりと村でも対応したいと思っています。

今日も暑くなるという事ですが、猛暑による熱中症対策や大雨・土砂災害、コロナ感染などあらゆる災害を想定し、これまでも防災備品等整備し

てまいりました。防災訓練も住民の皆様に話をさせてもらっていますが、3日分の食料でなく、1週間分の食料をぜひ備えていただきたいと思います。

村としても、村民皆さんが安全安心して暮らせるように、しっかりと努めてまいりたいと思いますので、引き続きご支援いただきたいと思います。

また、清川村の今後10年間の長期的な展望について、将来を定めた第4次総合計画を皆さんにお届けしていると思いますが、村の将来像としまして、目標人口3,000人と設定し、水と緑あふれる心のふるさと清川を目指し、各種の施策に取り組んでいるところです。とりわけ、教育や子育ての分野につきましては、基本目標として「健やかに育ち夢や希望を持てる村づくり」に向け、地域や家庭との連携による教育の充実、幼小中一貫校の教育環境の整備、一貫教育による清川らしい教育活動の整備を進めていくとともに、文化、芸術の振興と継承にもしっかりと取り組むこととしています。それぞれの事業については、各所属部門と調整を図りながら3年ごとの実施計画を定めて現在取り組んでいます。村も人口減少を食い止めながら、皆さんがいつまでも暮らしたい、だれもが暮らしたくなる夢と希望に満ちた清川、みなさんが村に誇りを持っていただけるような村づくりを進めてまいりますので、引き続き委員の皆様にも重ねてご指導とご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

教育長あいさつ

おはようございます。中学生の代表生徒は夏休みの8月3日、4日、5日と洋上体験で初島の方に行って体験してきました。この後、報告会もあります。また、5日、6日、7日で恒久平和事業として広島の方に行き、平和について学習してきました。青龍祭では龍作りをしまして、精力的に土日に多くの人たちに参加いただいて、当日を迎えることができました。

昨日地域の防災訓練で現場を回らせていただいたのですが、印象的だったのが子どもたちも来ていまして、参加する姿がありました。学校でも避難訓練等実施しているのですが、いつ起こるかわからない地震ですので、防災意識を一人一人が持つことは大事だと思いました。

いよいよ2学期が始まります。スタートが大事ですので、そのあたりも踏まえて子どもたちの様子を見ながら、学校と連携を深め、方策を教育委員会としても取っていきたいと思います。今日もよろしくお願いします。

議題（1）前回会議録の確認

◎事務局から「資料1」により説明を行い、前回会議録（R6.2.27）の確認をしました

* 修正等があれば、9月9日までに事務局に連絡

議題（２） 学校教育の運営状況について

事務局・8月9日清川村で震度5弱地震による緑小、緑中の被害、学施設
現場写真の説明

- ・資料3 今後の幼稚園の在り方について、園児数減少にともなって一時預かり等朝・夕延長を検討。出勤時間の関係で先生方の子どもを預けるところがなく、村で預かることができるか検討
- ・学童保育の現状として少なくなっているため、一時預かりの幼児と一緒にできないか調整している。幼稚園を使いたいが、トイレ等問題があり施設改修しないと対応が難しい
- ・幼児の送迎について、現在4名の利用、今後について検討
- ・宮ヶ瀬地区からの通学について、保護者を含めて調整中
- ・一時預かり保育の延長について、人的対応が取れるかわからないが実施する方向で検討中
- ・今後のあり方を保育園との住み分けを含め調整していく
- ・幼小中一貫校について幼稚園の在り方保護者のニーズ、入園人数等検討していく

事務局 資料4を使って、令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の説明。小学校の算数以外は神奈川県、全国の平均の正答率を上回っている。昨年は下回っていたので今年度は大きな成長と考えられる。今後分析、考察の内容を検討していく。

委員 幼稚園の今後のあり方で職員の配置についての課題があるか。

事務局 園児数に対して職員数は若干多い預かり時間の延長、児童の介助等あるので調整していく。

委員 手のかかる園児もいると思うので、現場の意見を吸い上げ対応してもらいたい。

委員 緑小の体育館は耐震工事していたのか。

事務局 学校は耐震診断し、建築基準法で決まっている。地震翌週に台風があったが影響はない。

委員 保育園、幼稚園の連携については、具体的に何かあるのか。

事務局 幼稚園で7:30～18:30までの時間で預かることができるかどうかで決まってくる。認定保育園にすると先生の数が減ってしまうのでそれは避けたい。

委員 子どもの事を第一に考えてもらいたい。

委員 幼稚園の先生、子どもが減ってもかける時間は一緒なので、先生たちの負担にならないようにしてほしい。

事務局 夏休みに他保育園を視察に行き、幼稚園の先生も研究している。

現場の先生方の意見を聞きながら検討している。

委員 あらゆる可能性を探って、幼稚園に行こうが保育園に行こうが清川の子なので、良い方向が出るよう検討している。

議長 制度の中で保育園、幼稚園、認定こども園等補助制度が違うので、様々な課題があるが、村の子なので同じ目線で見たい。

議題（３）生涯学習の実施状況について

- 事務局
- ・資料５ せせらぎ館みどりホール地震による損傷について
 - ・資料６ 青龍祭開催人数調査。昨年より９００人多く来場作業参加者も増えている
 - ・資料７ 煤ヶ谷地区体育祭実施要項について
 - ・資料８ やまびこマラソン実施計画について

議題（４）その他

次回の会議日程

◎ 来年２月

閉会